⑵　制御コマンド

⑴　ＤＯＭＡＩＮ

ア　ＤＯＭＡＩＮのオペランドは、１バイトの固定形式オペランド及びこれに続く多価オペランドで構成する。

イ　固定形式オペランドは、各コマンドの１価オペランド長をｂ２及びｂ１で、多価オペランド長をｂ５からｂ３までで、次元をｂ６で指定する。各指定は、それぞれ別記第５から別記第７までに示すとおりとする。

ウ　多価オペランドは、論理画素の大きさを指定する。

論理画素の大きさは、ＰＯＩＮＴ、ＬＩＮＥ、ＡＲＣ、ＲＥＣＴ及びＰＯＬＹによる描画の場合に指定する。

論理画素の大きさのデフォルト値は、dx及びdyともに「０」とする。

この場合、描画点は左下端とし、受信機が有する最小の画素の大きさを論理画素の大きさとして描画する。

エ　描画点と描画位置の関係は、別記第８に示すとおりとする。

オ　ＤＯＭＡＩＮによる指定は、ＲＥＳＥＴ又は新たな指定があるまで継続とする。

カ　各コマンドのオペランド長がＤＯＭＡＩＮで指定された長さより短い場合は不足のバイトのｂ６からｂ１までは「０」とみなす。また、各コマンドのオペランド長がＤＯＭＡＩＮで指定された長さよりも長い場合は、別記第２の追加オペランドに従う。

ＤＯＭＡＩＮ自身の多価オペランド長もＤＯＭＡＩＮの固定形式オペランドで指定する。

⑵　ＴＥＸＴＵＲＥ

オペランドは１バイト固定形式オペランドとし、その構成は次のとおりとする。

ｂ８	ｂ７	ｂ６	ｂ５	ｂ４	ｂ３	ｂ２	ｂ１
0	1	テクスチャパターン			ハイライト	ラインテクスチャ	

ア　ラインテクスチャは、描画の線の種類（以下「線種」という。）を示し、その構成は、別記第９に示すとおりとする。

指定された線種はＬＩＮＥ、輪郭形式のＡＲＣ、ＲＥＣＴ及びＰＯＬＹで描画する場合に使用する。

ハイライトには使用しない。

線種と論理画素の大きさとの関係は、別記第10に示すとおりとする。

線分又は弧の始点及び終点並びに多角形の各頂点は描画し、空白とならないものとする。論理画素の大きさのdxが「０」の場合、垂直線以外は全て実線とし、dyが「０」の場合は、水平線以外は全て実線とする。

ＳＥＬＥＣＴ　ＣＯＬＯＲで指定するカラーモード１では、ラインテクスチャによる描画部分のみを前景色で描画し、カラーモード２では描画部分を前景色、描画部分間の線を背景色で描画する。

イ　ハイライトは、塗りつぶし形式のＡＲＣ、ＲＥＣＴ及びＰＯＬＹにより描画した図形の輪郭の有無を示し、「１」の場合輪郭を施し、「０」の場合は輪郭を施さないものとする。ただし、ＡＲＣの弦については、輪郭を施さないものとする。

線種は、ラインテクスチャの指定にかかわらず論理画素の太さの実線とする。

色はカラーモード１の場合は黒とし、カラーモード２の場合は背景色とする。

ウ　テクスチャパターンの構成は、別記第11に示すとおりとする。

テクスチャパターンは、ＡＲＣ、ＲＥＣＴ及びＰＯＬＹの塗りつぶしパターンに使用する。

塗りつぶしは、輪郭線を描かずに輪郭線の占める領域も含んでその内部をテクスチャパターンにより指定されるパターンで行う。

カラーモード１の場合は描画部分のみを前景色で描画し、カラーモード２の場合は描画部分を前景色で、それ以外の部分を背景色で描画する。

⑶　ＳＥＴ　ＣＯＬＯＲ

ＳＥＴ　ＣＯＬＯＲは、カラーマップのデータを指定し、そのオペランドの構成は、別記第４に示すとおりとする。

カラーマップアドレスは、ＳＥＬＥＣＴ　ＣＯＬＯＲで指定されている値とし、カラーモード２の場合は、前景色として指定されている値とする。

多価オペランドが複数個の場合は、カラーマップアドレスは、順次１増加したものとみなす。

オペランドが省略された場合は透明とする。

⑷　ＳＥＬＥＣＴ　ＣＯＬＯＲ

ＳＥＬＥＣＴ　ＣＯＬＯＲは、１又は２の１価オペランド（１バイト）によりカラーモード及び描画の色の指定を行うものとし、その構成は、別記第12に示すとおりとする。

１価オペランドが１つの場合はカラーモード１となり、前景色を指定する。

１価オペランドは、２進値によりｂ１（ＭＳＢ）及びｂ２（ＬＳＢ）でパレット番号を、ｂ３（ＭＳＢ）からｂ６（ＬＳＢ）でカラーマップ下位アドレスを示すものとする。

パレット番号は、「０」又は「１」とする。

１価オペランドが２つの場合はカラーモード２となり、第１のオペランドで前景色、第２のオペランドで背景色を指定する。

⑸　ＢＬＩＮＫ

ＢＬＩＮＫは、カラーマップに対して色の塗替えを指定する。

オペランドの構成は、１つの１価オペランド及び３つの固定オペランドからなる。

１価オペランドは、ブリンクで指定する色（以下「ブリンク先」という。）をカラーマップアドレスとして指定する。第１番目の固定オペランドはブリンク先の色となる時間（以下「オンインターバル」という。）を、第２番目の固定オペランドは、ＳＥＬＥＣＴ　ＣＯＬＯＲで現在指定されている色（以下「ブリンク元の色」という。）となる時間（以下「オフインターバル」という。）を、第３番目の固定オペランドは、直前に指定されたブリンクに対しその開始の遅延時間を0.1秒を単位とした倍数（最大63）で示す。

オンインターバル又はオフインターバルが「０」の場合は現在の描画色をブリンク元の色とし、このコマンドの第１オペランドで指定された色をブリンク先とするブリンクプロセスを終了する。

オペランドがすべて省略された場合は、現在の描画色をブリンク元の色とするすべてのブリンクを終了する。

同時に定義するブリンクのプロセスは、16以下とする。

⑹　ＲＥＳＥＴ

ＲＥＳＥＴは、ＤＯＭＡＩＮ、ＢＬＩＮＫ、ＴＥＸＴＵＲＥ及びジオメトリックマクロ符号集合のマクロ文を初期化する。

ＲＥＳＥＴは、２バイトの固定オペランドを有し、第１バイトのｂ１でＤＯＭＡＩＮ、第２バイトのｂ２でＢＬＩＮＫ、ｂ４でＴＥＸＴＵＲＥ及びｂ５でジオメトリックマクロ符号集合の初期化を指定する。